

# 平成30年7月豪雨および台風12号における

## 避難意識と行動に関する調査

防災マーケティング研究チーム調査結果【速報】

平成30(2018)年8月29日時点 集計速報

県立広島大学 大学院 経営管理研究科  
HBMS(Hiroshima Business and Management School)

## アンケート調査概要

県立広島大学大学院経営管理研究科（通称HBMS）防災マーケティング研究チームは、株式会社サーベイリサーチセンターの協力のもと、この度の平成30年7月豪雨および台風12号における避難意識や避難行動の調査を行った。当該調査は平成30年8月1日から2日にかけて、広島県・岡山県・愛媛県内の成人男女10,000人のインターネットモニターに対して実施したものである。

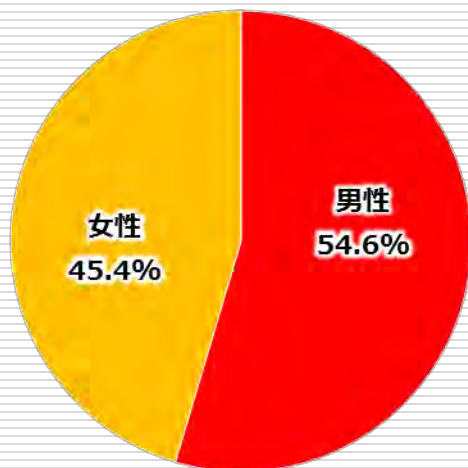
調査期間	調査方法	回答数	有効回答数
平成30年8月1日(水)～ 平成30年8月2日(木)	WEBアンケート	10,000	9,183
設問項目			
(回答者属性) 性別	SC10) 台風12号での避難の有無		
(回答者属性) 年齢	SC11) 台風12号で避難しなかった理由		
SC1) 住所	SC12) 適切な避難行動		
SC2) 住まいの立地	Q1) 避難場所		
SC3) 日頃からの備え	Q2) 避難のきっかけ		
SC4) 避難の判断など	Q3) 避難開始時刻		
SC5) 災害時の情報源	Q4) 避難形態		
SC6) 台風12号に備えての準備	Q5) 避難時の交通手段		
SC7) 広島県知事による台風12号接近に伴う緊急メッセージの認識	Q6) 避難時間		
	Q7) 避難場所での困り事		
SC8) H30.7豪雨と台風12号の避難意識の違い	Q8) 避難判断の是非		
	Q9) 家族形態		
SC9) H30.7豪雨での避難の有無	Q10) 居住形態		



防災マーケティング研究チーム

- 江戸克栄 [HBMS(教授)]
- 上垣慎一 [HBMS/呉市]
- 川内英次 [HBMS/広島高速道路公社]
- 小出隆仁 [HBMS/医療法人真慈会]
- 高田禮榮 [HBMS/中電技術コンサルタント(株)]
- 柘原 茂 [HBMS/広島市]
- 藤本健二 [(株)サーベイリサーチセンター]

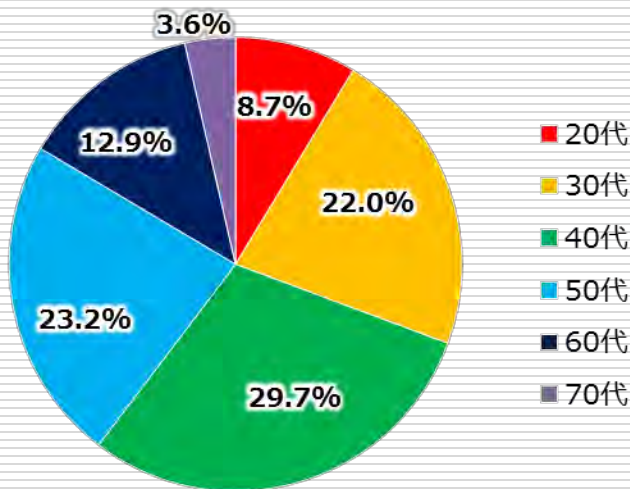
## 性別



■男性の方が女性より9.2ポイント多くなっています。

全 体	男 性	女 性
9183	5014	4169
100.0%	54.6%	45.4%

## 年齢

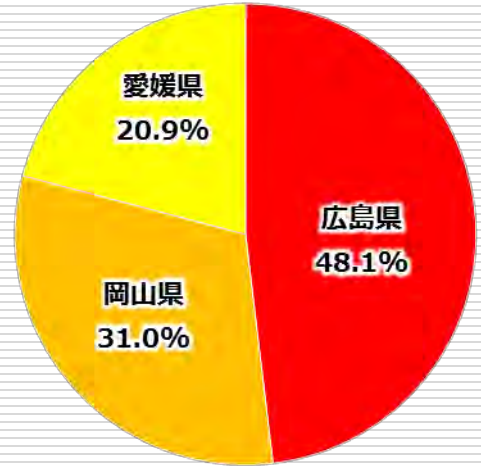


■40代が29.7%と最も多く、次いで50代の23.2%となっています。（回答者の平均年齢は46.55歳です。）

■若年層（20代・30代）では30.7%、中年層（40代・50代）では52.9%、高年層（60代・70代）では16.5%となっています。

全 体	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	6 0 代	7 0 代	平均 ( 歳 )
9183	799	2020	2723	2132	1181	328	46.55
100.0%	8.7%	22.0%	29.7%	23.2%	12.9%	3.6%	

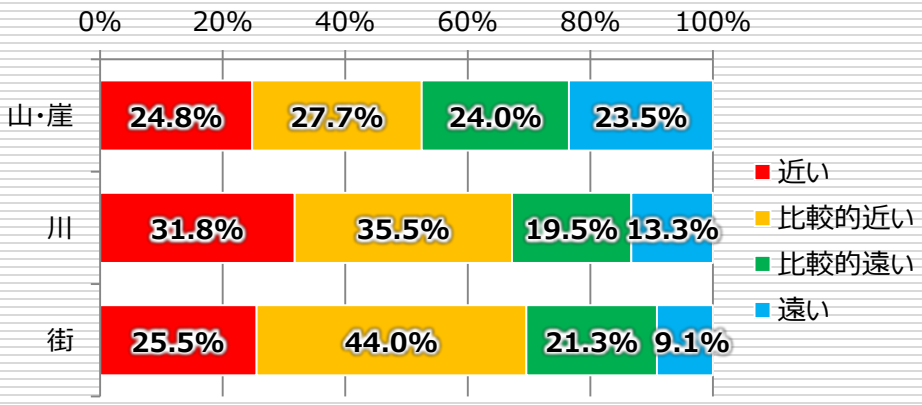
SC1) あなたのお住まいは？



■ 広島県が半数近くを占めており、岡山県が約3割、愛媛県が約2割となっています。

全 体	広 島 県	岡 山 県	愛 媛 県
9183	4415	2849	1919
100.0%	48.1%	31.0%	20.9%

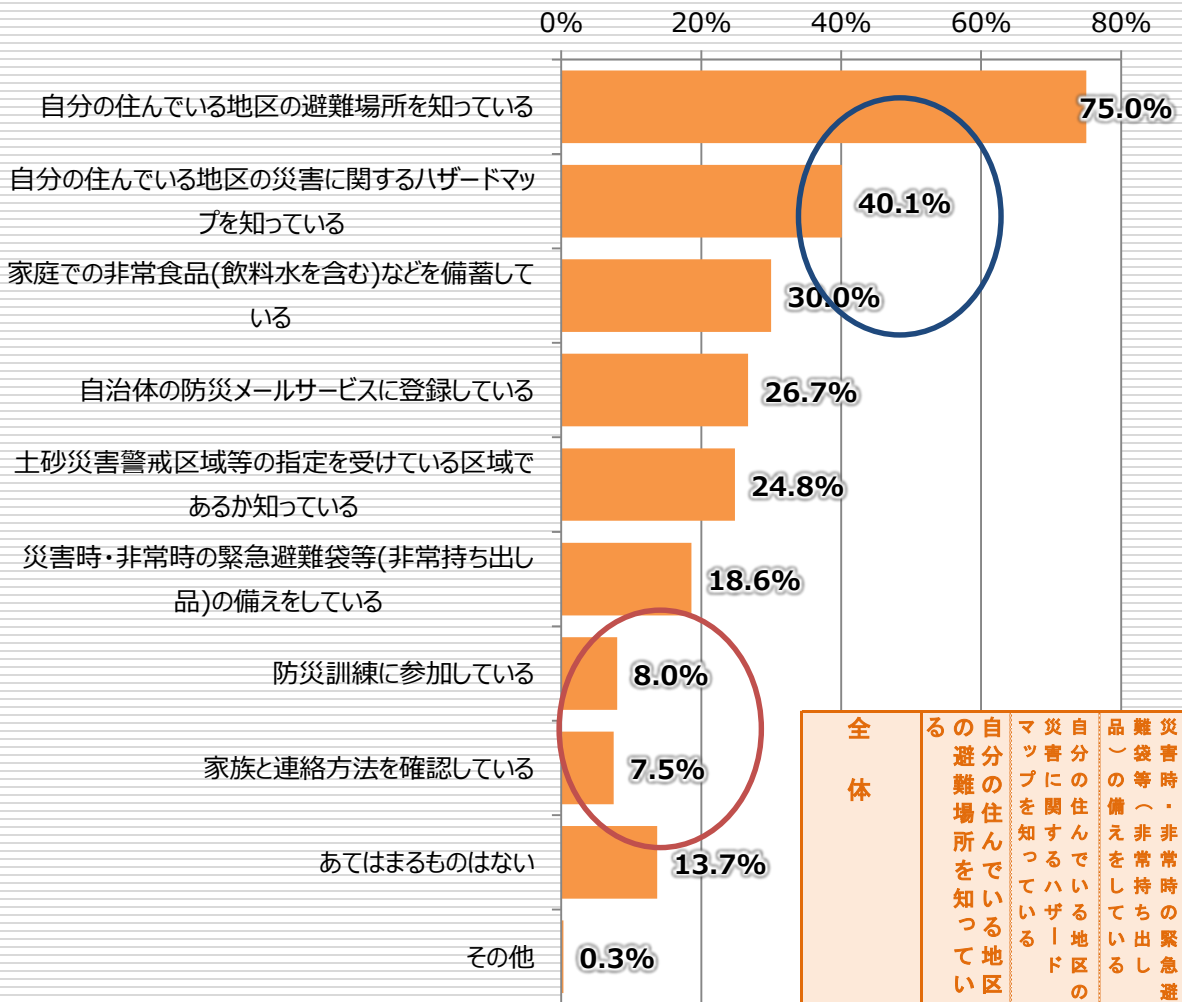
SC2) あなたのお住まいの立地は？



■ 土砂災害の恐れがある「山・崖」には52.5%が近い・比較的近いとなっています。  
 ■ 洪水被害の恐れがある「川」には67.3%が近い・比較的近いとなっています。

	全 体	近 い	比 較 的 近 い	比 較 的 遠 い	遠 い
山・崖	9183 100.0%	2275 24.8%	2541 27.7%	2208 24.0%	2159 23.5%
川	9183 100.0%	2921 31.8%	3256 35.5%	1787 19.5%	1219 13.3%
街	9183 100.0%	2342 25.5%	4041 44.0%	1960 21.3%	840 9.1%

### SC3) 災害（地震、大雨、台風等）に対して、あなたが日頃から知っているもの・準備していることは？（複数回答可）



■ 日頃からの備えとしては、「自分の住んでいる地区の避難場所を知っている」が75.0%と最も多く、次いで、「自分の住んでいる地区の災害に関するハザードマップを知っている」が40.1%となっています。災害直後であるにもかかわらず、ハザードマップを知らない人が6割近くもまだいます。

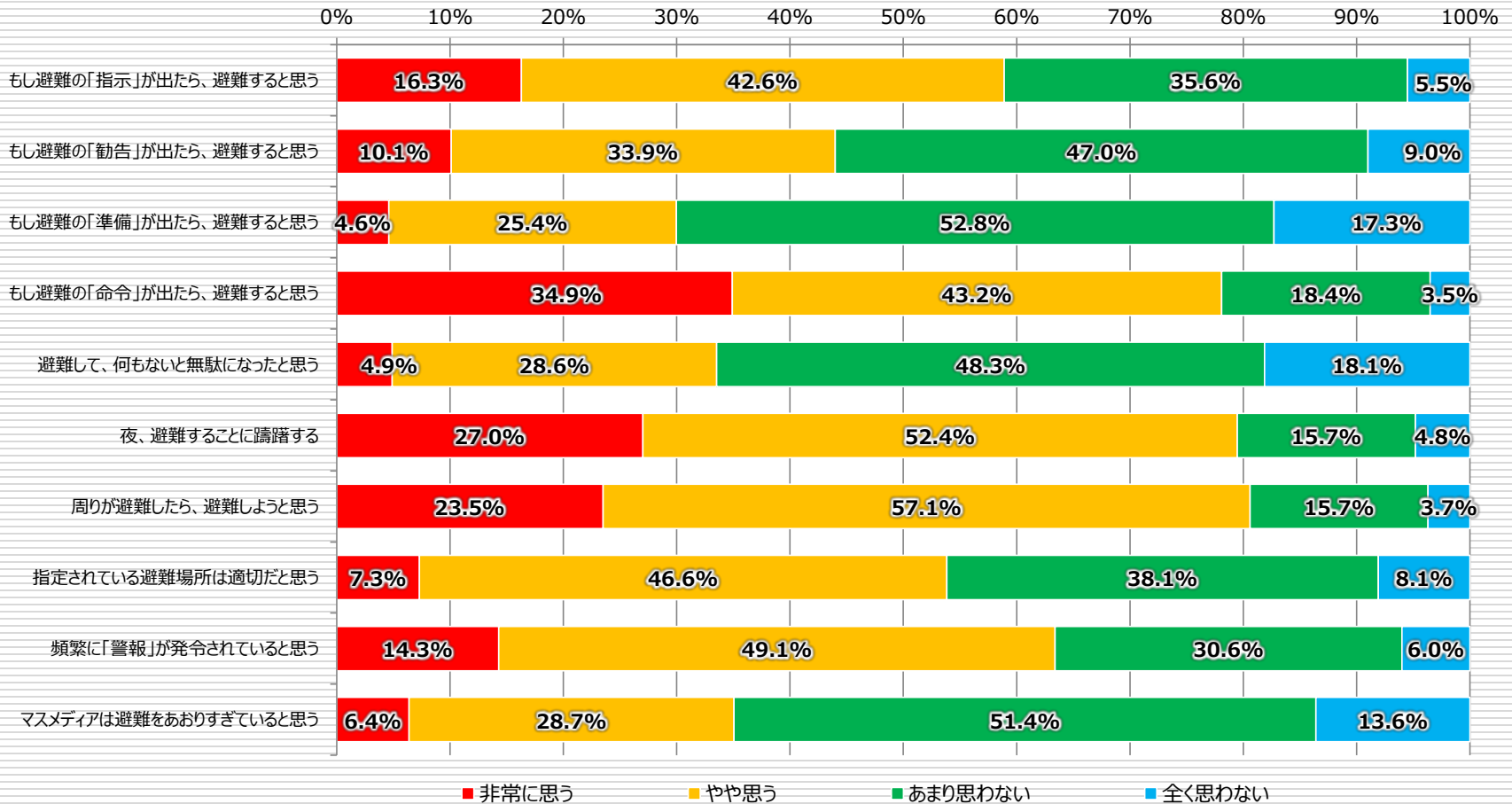
■ 一方、「家族と連絡方法を確認している」（7.5%）や「防災訓練に参加している」（8.0%）割合が低く、災害時に備えた訓練や連絡体制のあり方については課題がありそうです。

全体	自分の住んでいる地区の避難場所を知っている	自分の住んでいる地区の災害に関するハザードマップを知っている	自分の住んでいる地区の災害に関するハザードマップを知っている	家庭での非常食品(飲料水を含む)などを備蓄している	自治体の防災メールサービスに登録している	土砂災害警戒区域等の指定を受けている区域であるか知っている	災害時・非常時の緊急避難袋等(非常持ち出し品)の備えをしている	防災訓練に参加している	家族と連絡方法を確認している	あてはまるものはない	その他
9183	6883	3683	1710	2751	692	2279	2453	738	28	1260	
100.0%	75.0%	40.1%	18.6%	30.0%	7.5%	24.8%	26.7%	8.0%	0.3%	13.7%	

### SC4) 避難に関するもので該当するものをそれぞれお答えください。

■実際には「避難勧告」⇒「避難指示」の順で危険度に応じて出されますが、回答では「命令」⇒「指示」⇒「勧告」⇒「準備」の順で非常に思うと回答しており、正しく認識されていないことが懸念されます。（実際には「避難命令」はありませんが、最も多い34.9%が非常に思うと回答しています。）

■また、夜間の避難に対する抵抗感（避難を躊躇する）があることがうかがえます。



SC4) 避難に関するもので該当するものをそれぞれお答えください。

	全 体	非 常 に 思 う	や や 思 う	あ ま り 思 わ な い	全 く 思 わ な い
もし避難の「指示」が出たら、避難すると思う	9183 100.0	1499 16.3	3911 42.6	3272 35.6	501 5.5
もし避難の「勧告」が出たら、避難すると思う	9183 100.0	931 10.1	3109 33.9	4319 47.0	824 9.0
もし避難の「準備」が出たら、避難すると思う	9183 100.0	420 4.6	2333 25.4	4845 52.8	1585 17.3
もし避難の「命令」が出たら、避難すると思う	9183 100.0	3205 34.9	3966 43.2	1687 18.4	325 3.5
避難して、何もないと無駄になったと思う	9183 100.0	452 4.9	2629 28.6	4437 48.3	1665 18.1
夜、避難することに躊躇する	9183 100.0	2484 27.0	4816 52.4	1439 15.7	444 4.8
周りが避難したら、避難しようと思う	9183 100.0	2159 23.5	5239 57.1	1444 15.7	341 3.7
指定されている避難場所は適切だと思う	9183 100.0	670 7.3	4277 46.6	3496 38.1	740 8.1
頻繁に「警報」が発令されていると思う	9183 100.0	1312 14.3	4512 49.1	2812 30.6	547 6.0
マスメディアは避難をあまりすぎていると思う	9183 100.0	586 6.4	2631 28.7	4719 51.4	1247 13.6

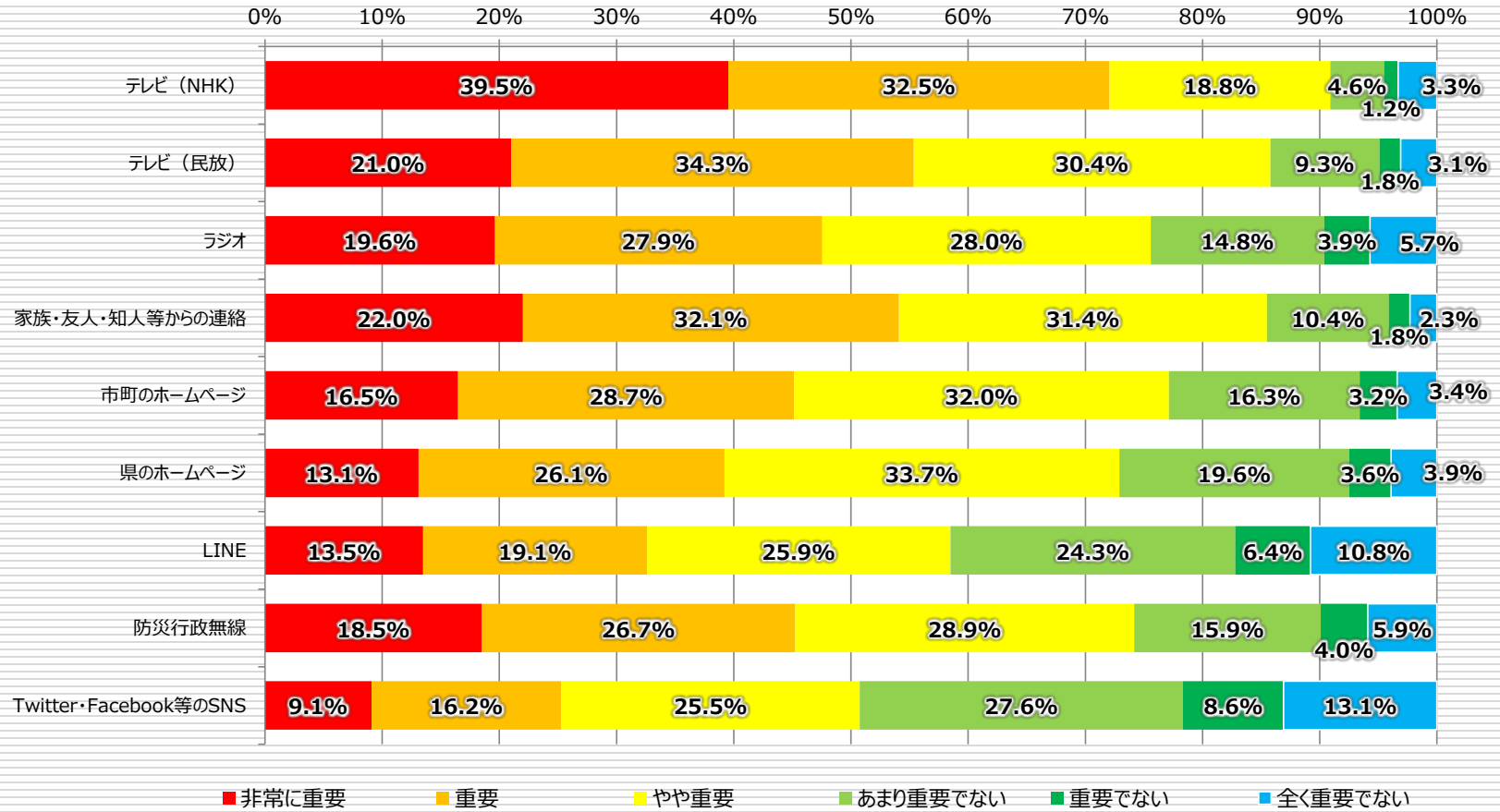
上段：回答者数(人)

下段：割合(%)

### SC5) 災害（地震、大雨、台風等）の時に、避難行動をとるときに次の情報源はどれくらい重要ですか（参考にしますか）？

■「テレビ（NHK）」を重視する意見が多く、39.5%が「非常に重要」と回答しています。

■NHKほどではないものの、「テレビ（民放）」も『重要』（「非常に重要」+「重要」）という回答が半数を占めています。また、「家族・友人・知人等からの連絡」についても半数を超える人が『重要』と回答しており、メディアだけでなく、日頃の人間関係も災害時の情報源として重要視されていることがわかります。



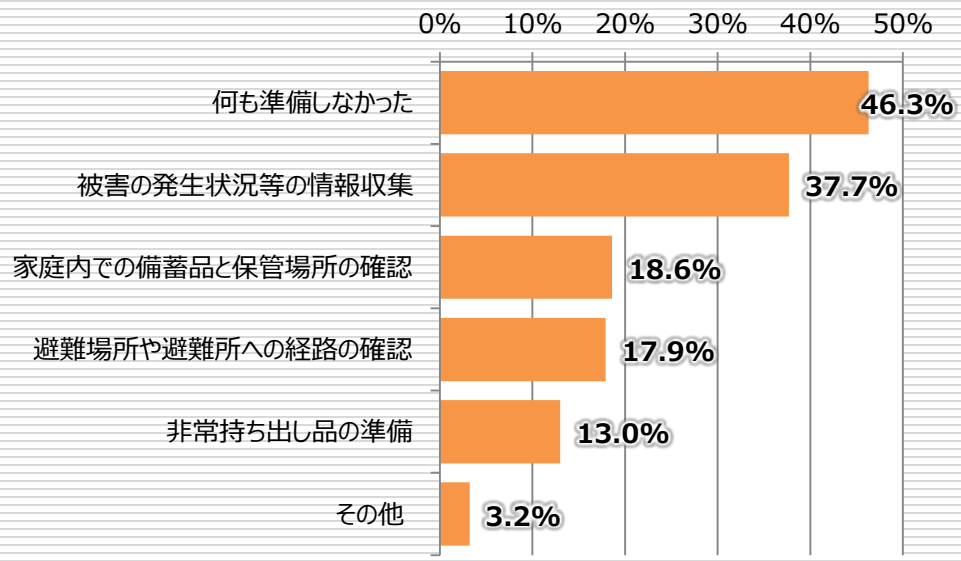


SC5) 災害（地震、大雨、台風等）の時に、避難行動をとるときに次の情報源はどれくらい重要ですか（参考にしますか）？

	全 体	非 常 に 重 要	重 要	や や 重 要	い あ ま り 重 要 で な い	重 要 で な い	全 く 重 要 で な い
テレビ（NHK）	9183 100.0	3628 39.5	2986 32.5	1729 18.8	427 4.6	112 1.2	301 3.3
テレビ（民放）	9183 100.0	1931 21.0	3154 34.3	2788 30.4	855 9.3	167 1.8	288 3.1
ラジオ	9183 100.0	1803 19.6	2560 27.9	2575 28.0	1358 14.8	361 3.9	526 5.7
家族・友人・知人等からの連絡	9183 100.0	2018 22.0	2949 32.1	2888 31.4	954 10.4	167 1.8	207 2.3
市町のホームページ	9183 100.0	1511 16.5	2634 28.7	2935 32.0	1497 16.3	290 3.2	316 3.4
県のホームページ	9183 100.0	1201 13.1	2400 26.1	3093 33.7	1800 19.6	333 3.6	356 3.9
LINE	9183 100.0	1241 13.5	1752 19.1	2382 25.9	2230 24.3	588 6.4	990 10.8
防災行政無線	9183 100.0	1701 18.5	2450 26.7	2654 28.9	1462 15.9	370 4.0	546 5.9
Twitter・Facebook等のSNS	9183 100.0	832 9.1	1486 16.2	2339 25.5	2537 27.6	788 8.6	1201 13.1
その他	153 100.0	90 58.8	46 30.1	15 9.8	1 0.7	-	1 0.7

上段：回答者数(人)  
下段：割合(%)

S C 6) 平成30年7月の台風12号についてお尋ねします。台風12号に備えて、何か準備を行いましたか？（複数回答可）



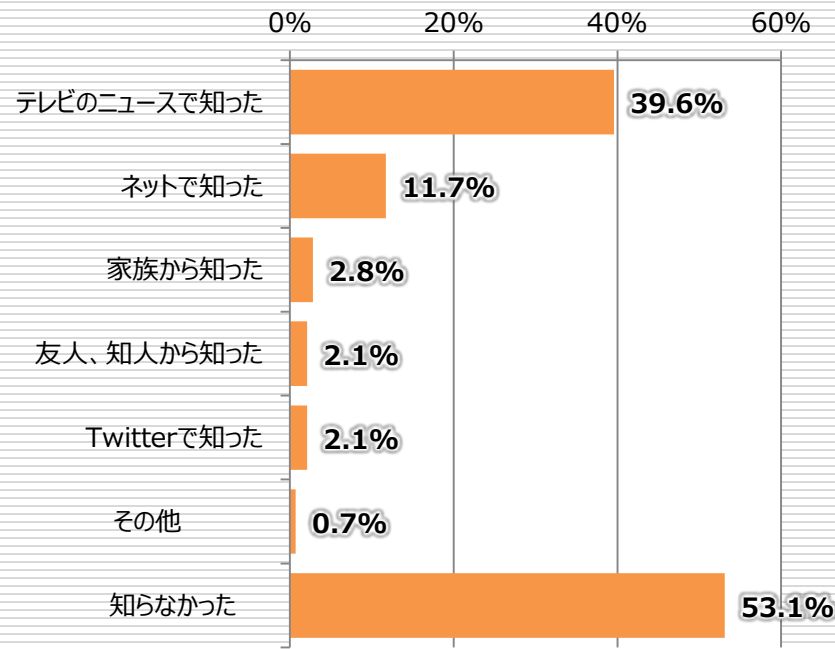
■「何も準備しなかった」とする人が46.3%と最も多くなっています。豪雨災害で大きな被害が発生したにもかかわらず、危機意識が薄いことが懸念されます。

■準備した人の行動では、「被害の発生状況等の情報収集」が37.7%と最も高くなっています。

全体	避難場所や避難所への経路の確認	家庭内での備蓄品と保管場所の確認	非常持ち出し品の準備	被害の発生状況等の情報収集	その他	何も準備しなかった
9183	1644	1712	1193	3458	296	4256
100.0%	17.9%	18.6%	13.0%	37.7%	3.2%	46.3%

## SC7) 平成30年7月の台風12号についてお尋ねします。湯崎広島県知事による直前の台風12号接近に伴う緊急メッセージの内容を知っていますか？（複数回答可）

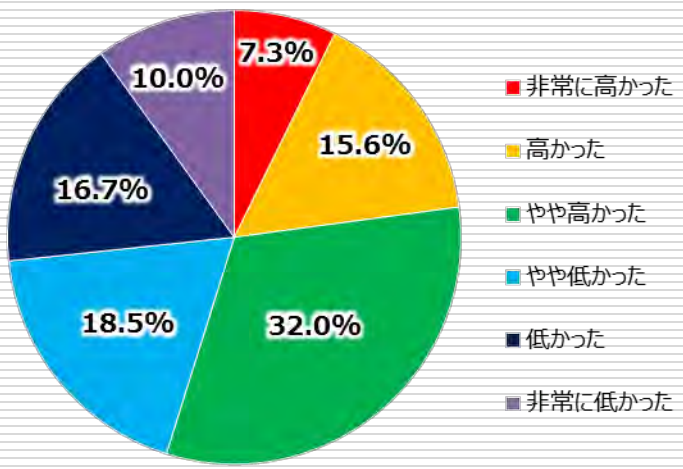
- 半数近く（46.9%）が、何らかの形で緊急メッセージを知っていたと回答しています。
- 「テレビのニュースで知った」が39.6%と最も高くなっていますが、「ネットで知った」も1割程度を占めています。



全体	知った	テレビのニュースで知った	ネットで知った	家族から知った	友人、知人から知った	た Twitter で知った	その他	知らない
9183	3632	1078	258	196	189	64	4876	
100.0%	39.6%	11.7%	2.8%	2.1%	2.1%	0.7%	53.1%	

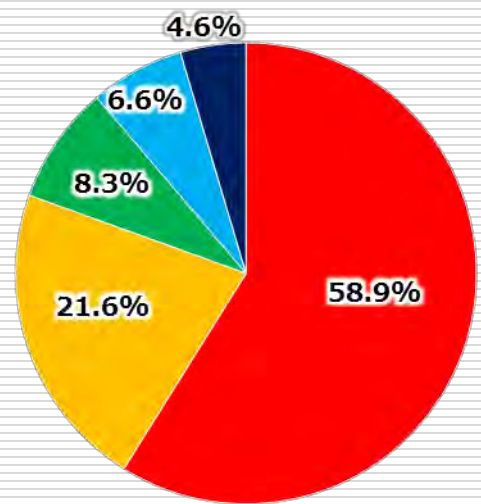
S C 8) 平成30年7月豪雨の時の「避難意識」と比べて、今回の台風12号の避難意識は高かったですか、それとも低かったですか？

■7月豪雨のときの「避難意識」と比べて、台風12号の避難意識が「非常に高かった」人は7.3%に留まりました。45.2%は避難意識が『低かった』（「やや低かった」「低かった」「非常に低かった」の合計）と回答しており、**豪雨災害で大きな被害が発生したにもかかわらず、台風12号の際には危機感を感じていなかったことがうかがえます。**



全 体	非 常 に 高 か っ た	高 か っ た	や や 高 か っ た	や や 低 か っ た	低 か っ た	非 常 に 低 か っ た
9183	671	1430	2936	1699	1530	917
100.0%	7.3%	15.6%	32.0%	18.5%	16.7%	10.0%

## S C 9) 平成30年7月豪雨で避難をしましたか？

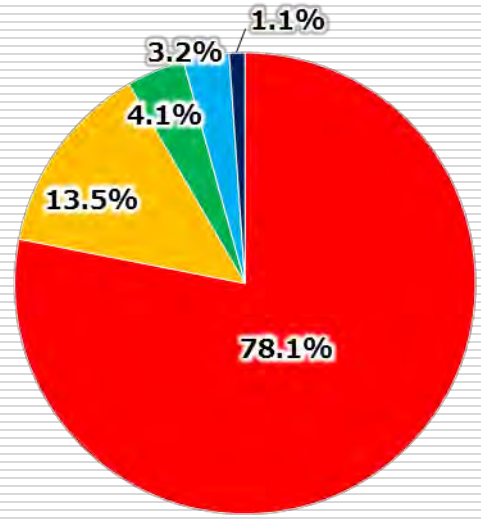


- 避難の検討もしなかったし、避難を実際にしなかった
- 避難を少し検討したが、避難しなかった
- 避難を検討したが、避難しなかった
- 避難を十分に検討したが、避難しなかった
- 避難した

■ 7月豪雨で「避難した」人は420人（4.6%）となっています。

全体	避難した	が、避難を十分に検討したが、避難しなかった	避難を検討したが、避難しなかった	が、避難を少し検討したが、避難しなかった	なした避難の検討もしなかった
9183	420	605	759	1986	5413
100.0%	4.6%	6.6%	8.3%	21.6%	58.9%

## S C 10) 平成30年7月の台風12号についてお尋ねします。今回の台風12号で避難をしましたか？



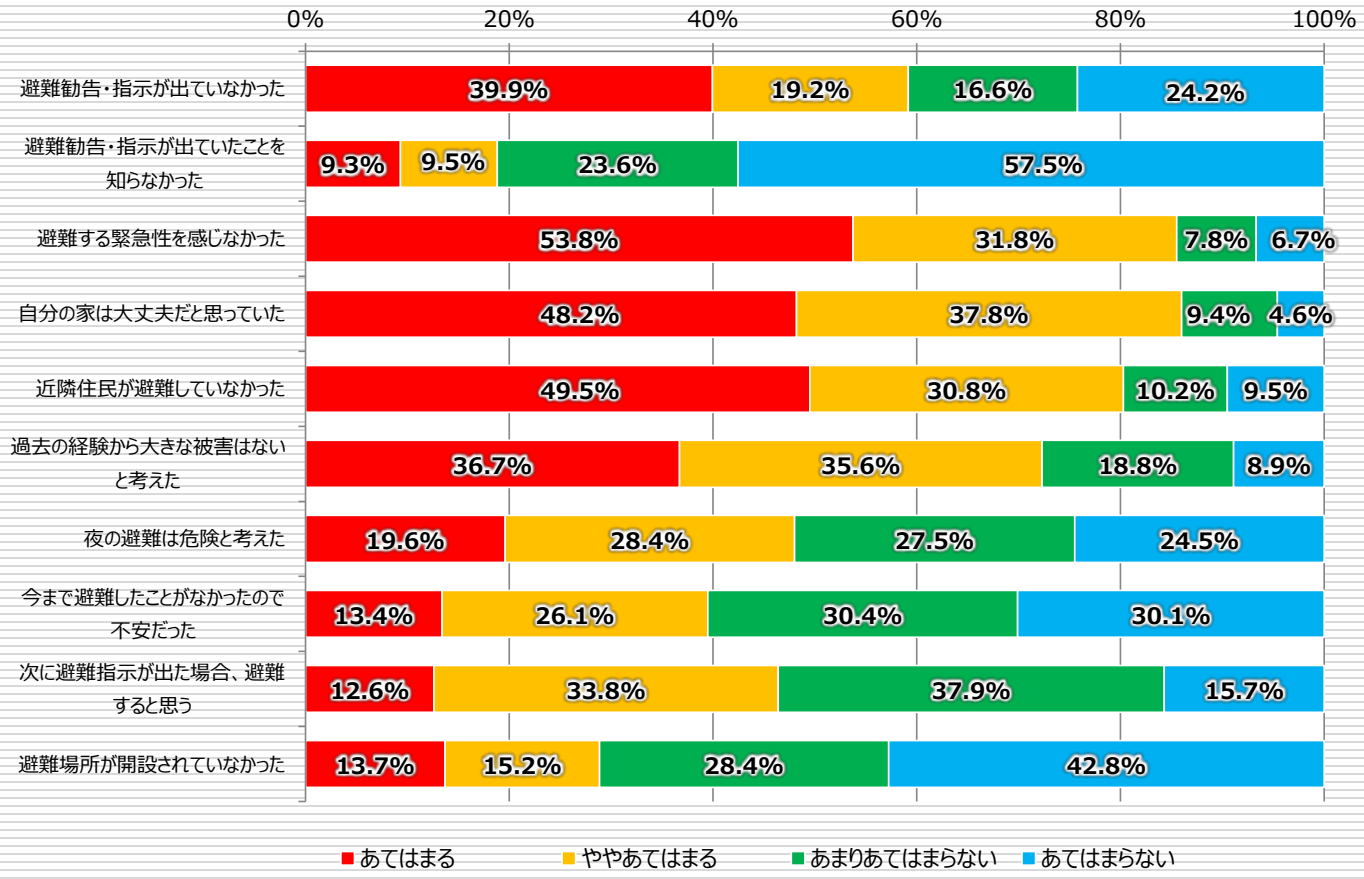
- 避難の検討もしなかったし、避難を実際にしなかった
- 避難を少し検討したが、避難しなかった
- 避難を検討したが、避難しなかった
- 避難を十分に検討したが、避難しなかった
- 避難した

■ 台風12号で「避難した」人は104人（1.1%）となっています。

全体	避難した	が、避難を十分に検討したが、避難しなかった	避難を検討したが、避難しなかった	が、避難を少し検討したが、避難しなかった	なした避難の検討もしなかった
9183	104	297	379	1240	7163
100.0%	1.1%	3.2%	4.1%	13.5%	78.0%

## SC11) 平成30年7月の台風12号についてお尋ねします。前問で「避難した」以外を回答した方は、今回、避難しなかった理由について、ご自身の考えに近いものをそれぞれお答えください。

■ 台風12号で避難しなかった理由は、「避難する緊急性を感じなかった」が最も高く53.8%が「あてはまる」と回答しています。次いで「近隣住民が避難していなかった」が49.5%、「自分の家は大丈夫だと思っていた」が48.2%となっています。正常性バイアスの傾向が見受けられます。また、「今まで避難したことがなかったので不安だった」が39.5%いたことも理由として挙げられます。



S C 11) 平成30年7月の台風12号についてお尋ねします。前問で「避難した」以外を回答した方は、今回、避難しなかった理由について、ご自身の考えに近いものをそれぞれお答えください。

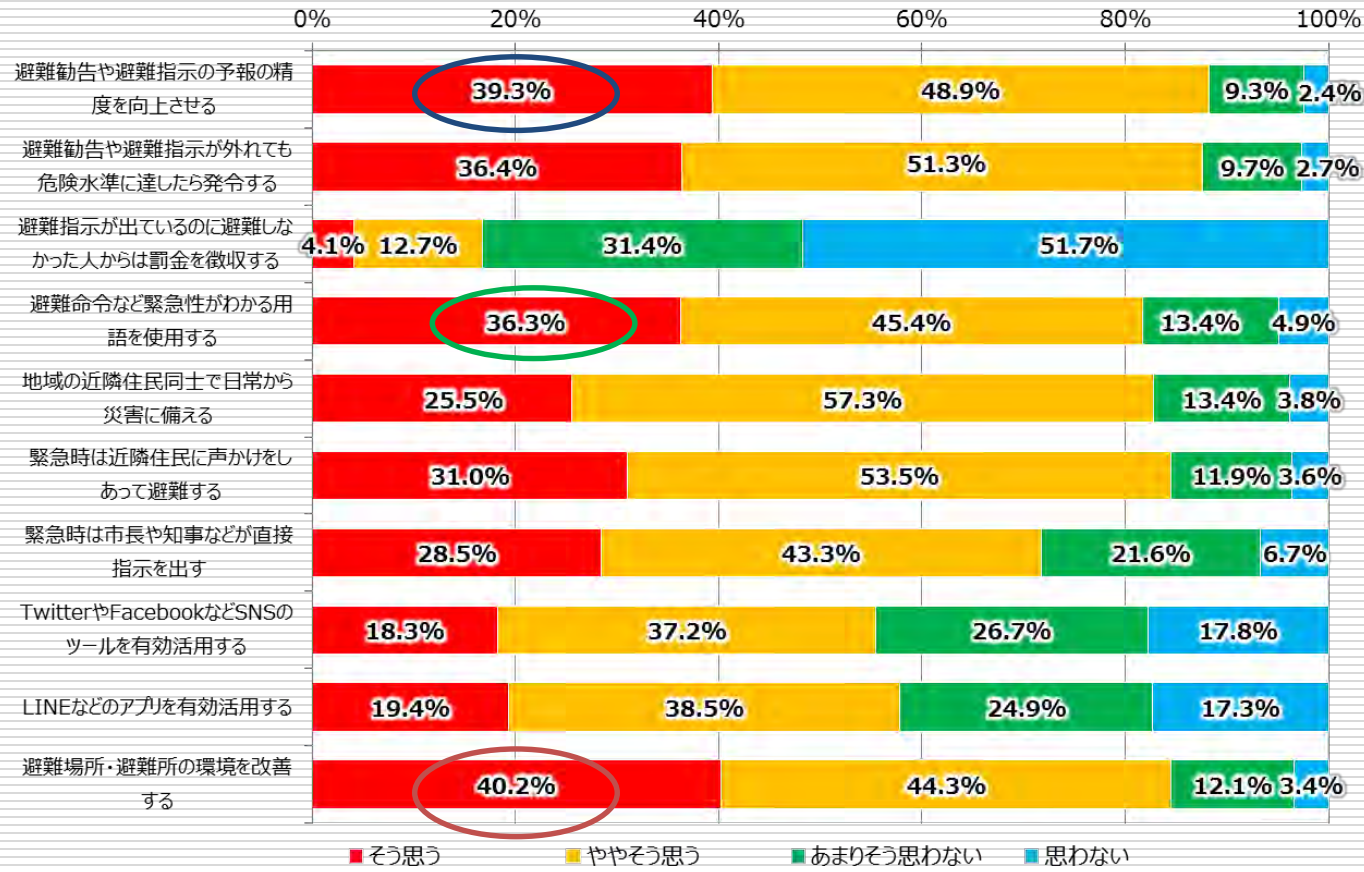
	全 体	あ て は ま る	や あ て は ま る	あ ま り あ て は ま ら な い	あ て は ま ら な い
避難勧告・指示が出ていなかった	9079 100.0	3623 39.9	1744 19.2	1511 16.6	2201 24.2
避難勧告・指示が出ていたことを知らなかった	9079 100.0	848 9.3	864 9.5	2144 23.6	5223 57.5
避難する緊急性を感じなかった	9079 100.0	4881 53.8	2883 31.8	707 7.8	608 6.7
自分の家は大丈夫だと思っていた	9079 100.0	4373 48.2	3432 37.8	854 9.4	420 4.6
近隣住民が避難していなかった	9079 100.0	4492 49.5	2794 30.8	926 10.2	867 9.5
過去の経験から大きな被害はないと考えた	9079 100.0	3332 36.7	3234 35.6	1706 18.8	807 8.9
夜の避難は危険と考えた	9079 100.0	1777 19.6	2577 28.4	2498 27.5	2227 24.5
今まで避難したことがなかったので不安だった	9079 100.0	1218 13.4	2371 26.1	2761 30.4	2729 30.1
次に避難指示が出た場合、避難すると思う	9079 100.0	1144 12.6	3068 33.8	3440 37.9	1427 15.7
避難場所が開設されていなかった	9079 100.0	1245 13.7	1377 15.2	2574 28.4	3883 42.8

上段：回答者数(人)  
下段：割合(%)

## SC12) 今後、災害が発生した際に、適切な避難行動をとるためにはどのようなことが必要と思いますか。それぞれお答えください。

■ 適切な避難行動をとるために必要なことは、「避難場所・避難所の環境を改善する」が最も高く、40.2%が「そう思う」と回答しています。避難場所での環境の悪いイメージが、避難行動を躊躇させている要因のひとつとなっている可能性がうかがえます。

■ 「避難勧告や避難指示の予報の精度を向上させる」(39.3%) 「避難命令など緊急性がわかる用語を使用する」(36.3%) といったように、避難を促すメッセージの予測精度や表現方法を工夫することが必要と考える人も一定数いるようです。



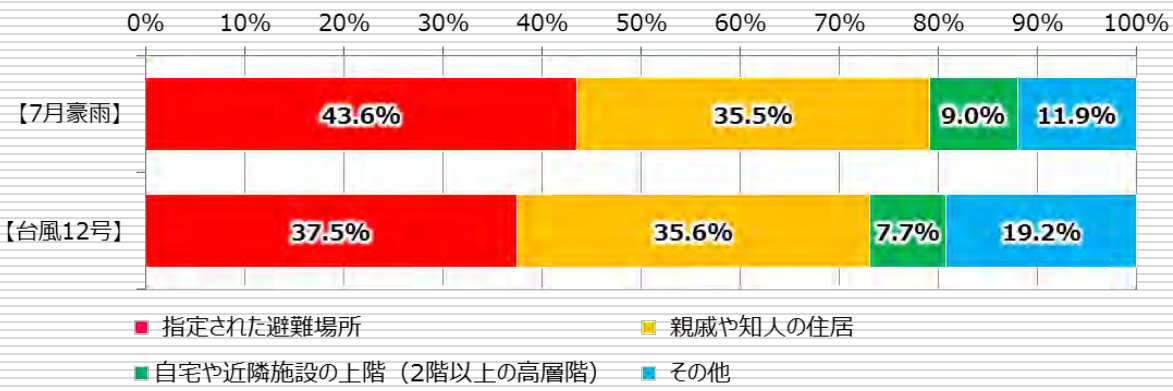


S C 12) 今後、災害が発生した際に、適切な避難行動をとるためにはどのようなことが必要と思いますか。それぞれお答えください。

	全 体	そ う 思 う	や や そ う 思 う	あ ま り そ う 思 わ な い	思 わ な い
避難勧告や避難指示の予報の精度を向上させる	9183 100.0	3609 39.3	4493 48.9	858 9.3	223 2.4
避難勧告や避難指示が外れても危険水準に達したら発令する	9183 100.0	3340 36.4	4709 51.3	890 9.7	244 2.7
避難指示が出ているのに避難しなかった人からは罰金を徴収する	9183 100.0	379 4.1	1168 12.7	2888 31.4	4748 51.7
避難命令など緊急性がわかる用語を使用する	9183 100.0	3332 36.3	4166 45.4	1233 13.4	452 4.9
地域の近隣住民同士で日常から災害に備える	9183 100.0	2345 25.5	5263 57.3	1227 13.4	348 3.8
緊急時は近隣住民に声かけをしあって避難する	9183 100.0	2846 31.0	4917 53.5	1092 11.9	328 3.6
緊急時は市長や知事などが直接指示を出す	9183 100.0	2615 28.5	3972 43.3	1980 21.6	616 6.7
TwitterやFacebookなどSNSのツールを有効活用する	9183 100.0	1680 18.3	3414 37.2	2456 26.7	1633 17.8
LINEなどのアプリを有効活用する	9183 100.0	1782 19.4	3531 38.5	2285 24.9	1585 17.3
避難場所・避難所の環境を改善する	9183 100.0	3691 40.2	4068 44.3	1111 12.1	313 3.4

上段：回答者数(人)  
下段：割合(%)

(7月豪雨または台風12号で避難した人に対して)  
Q1) どこへ避難されましたか？



	全 体	所 指 定 さ れ た 避 難 場	親 戚 や 知 人 の 住 居	高 上 自 宅 や 近 隣 施 設 の 上 階 ( 2 階 以 上 の )	そ の 他
【7月豪雨】	420 100.0%	183 43.6%	149 35.5%	38 9.0%	50 11.9%
【台風12号】	104 100.0%	39 37.5%	37 35.6%	8 7.7%	20 19.2%

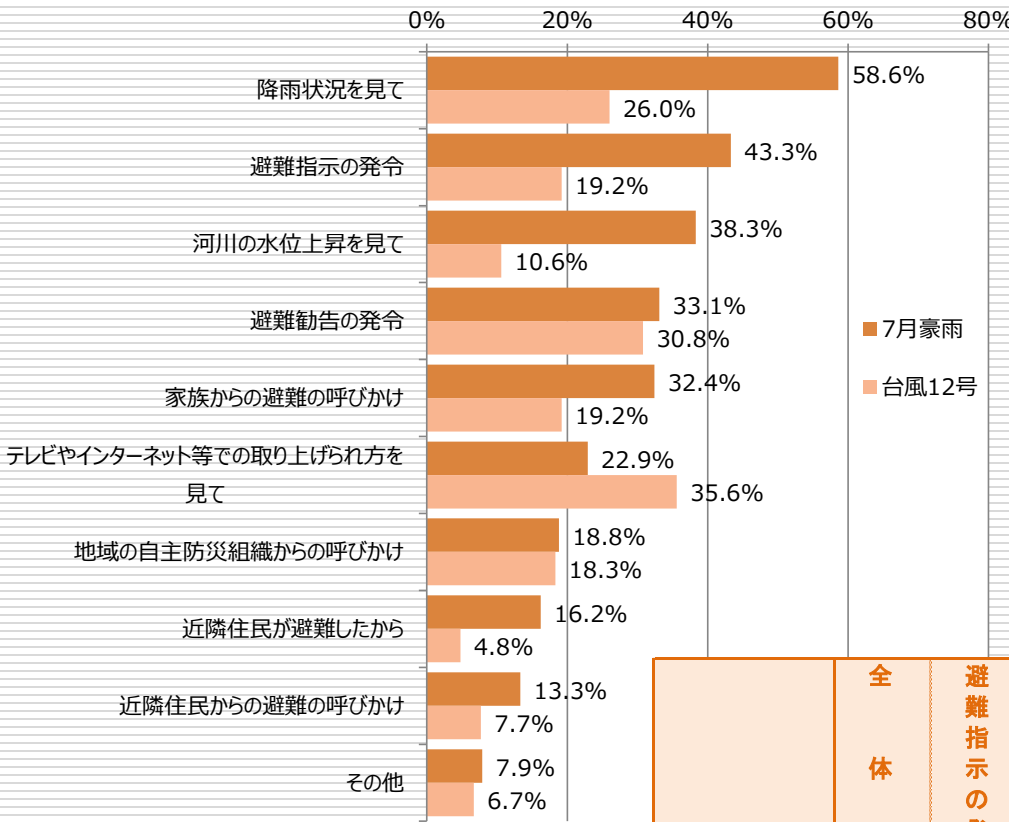
■ 7月豪雨では、避難した人のうち「指定された避難場所」へ避難した人が43.6%、「親戚や知人の住居」へ避難した人が35.5%となっています。

■ 台風12号でも、避難した人のうち「指定された避難場所」へ避難した人が37.5%、「親戚や知人の住居」へ避難した人が35.6%となっており、7月豪雨のときと同じ傾向があるといえます。

■ 「自宅や近隣施設の上階」へ避難する、いわゆる「垂直避難」は、7月豪雨、台風12号ともにいずれも1割に満たない結果となっています。

## (7月豪雨または台風12号で避難した人)

### Q2) 避難をするきっかけとなったのは何ですか？ (複数回答可)



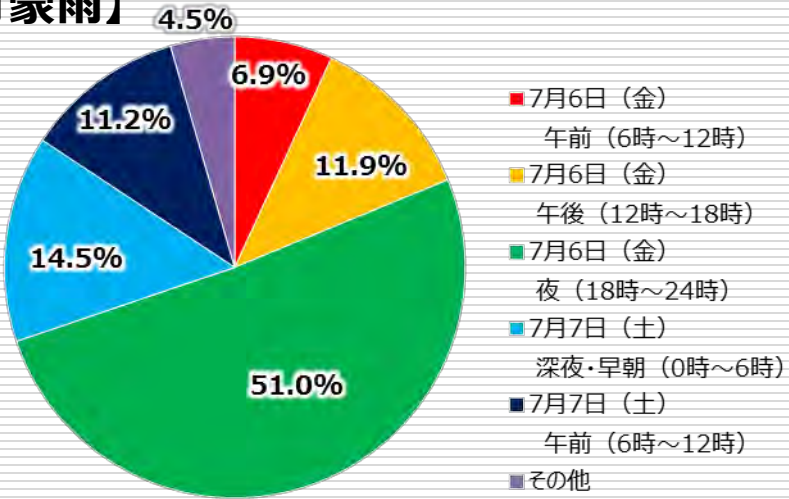
■避難するきっかけは、7月豪雨では、「降雨状況を見て」が最も高く、58.6%となっています。次いで、「避難指示の発令」(43.3%)、「河川の水位上昇を見て」(38.3%)となっています。

■一方で、台風12号では、「テレビやインターネット等での取り上げられ方を見て」が最も高く、35.6%となっています。湯崎広島県知事による緊急メッセージを含め、メディアによる影響力が伺えます。次いで、「避難勧告の発令」(30.8%)、「降雨状況を見て」(26.0%)となっています。

	全 体	避 難 指 示 の 発 令	避 難 勧 告 の 発 令	近 か ら の 住 民 が 避 難 し	近 隣 住 民 か ら の 呼 び か け	家 族 か ら の 呼 び か け	難 近 の 呼 び か け	織 地 域 か ら の 自 主 防 災 組 織	降 雨 状 況 を 見 て	見 て 河 川 の 水 位 上 昇 を	上 げ ら れ 方 を 見 取 り	テ レ ビ や イ ン タ ー ネ ッ ト 等 で の 取 り 上 げ ら れ 方 を 見 取 り	そ の 他
【7月豪雨】	420	182	139	68	136	56	79	246	161	96	33		
	100.0%	43.3%	33.1%	16.2%	32.4%	13.3%	18.8%	58.6%	38.3%	22.9%	7.9%		
【台風12号】	104	20	32	5	20	8	19	27	11	37	7		
	100.0%	19.2%	30.8%	4.8%	19.2%	7.7%	18.3%	26.0%	10.6%	35.6%	6.7%		

## (7月豪雨または台風12号で避難した人) Q3) いつ避難をしましたか？

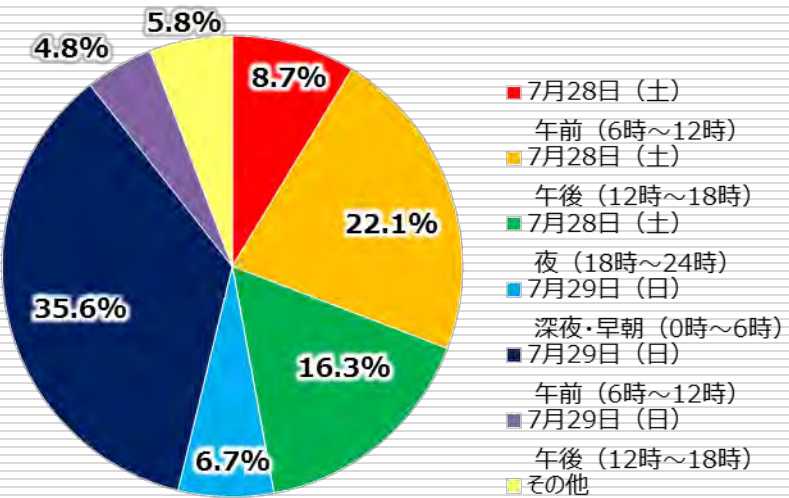
### 【7月豪雨】



■避難したタイミングは、7月豪雨では「7月6日(金) 夜(18時~24時)」が51.0%と最も高くなっています。

	全 体	前 7 月 6 日 ~ 1 2 時 ( 金 )	後 7 月 6 日 ~ 1 8 時 ( 金 )	( 7 月 8 時 ~ 2 4 時 ( 金 )	夜 ・ 早 朝 ( 0 時 ~ 6 時 ( 土 )	前 7 月 7 日 ~ 1 2 時 ( 土 )	そ の 他
		午 前	午 後	夜	深 夜	午 前	
【7月豪雨】	420 100.0%	29 6.9%	50 11.9%	214 51.0%	61 14.5%	47 11.2%	19 4.5%

### 【台風12号】



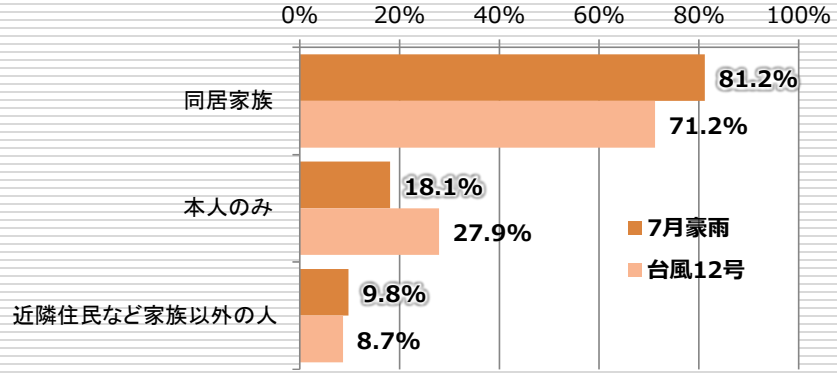
■避難したタイミングは、台風12号では「7月29日(日) 午前(6時~12時)」が35.6%と最も高くなっています。

	全 体	( 7 月 6 時 ~ 8 時 1 日 ~ 2 時 ( 土 )	( 7 月 1 2 時 ~ 8 時 1 日 ~ 8 時 ( 土 )	( 7 月 1 8 時 ~ 2 4 時 ( 土 )	夜 ・ 早 朝 ( 0 時 ~ 6 時 ( 日 )	( 7 月 6 時 ~ 9 時 1 日 ~ 2 時 ( 日 )	( 7 月 1 2 時 ~ 9 時 1 日 ~ 8 時 ( 日 )	そ の 他
		午 前	午 後	夜	深 夜	午 前	午 後	
【台風12号】	104 100.0%	9 8.7%	23 22.1%	17 16.3%	7 6.7%	37 35.6%	5 4.8%	6 5.8%

## (7月豪雨または台風12号で避難した人)

### Q4) 誰と、何人で避難しましたか？ (複数回答可) ※本人を除いた人数

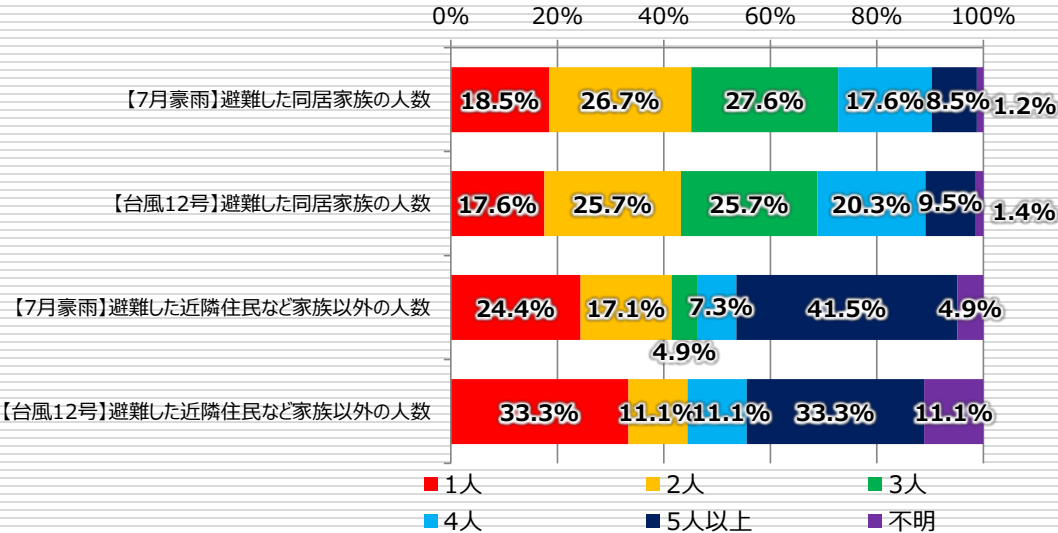
#### 【避難時の同行者】



■ 避難時の同行者については、7月豪雨でも台風12号でも「同居家族」が最も多くなっています。

	全 体	同居 家族	以 外 の 住 民 な ど 家 族	本 人 の み
【7月豪雨】	420 100.0%	341 81.2%	41 9.8%	76 18.1%
【台風12号】	104 100.0%	74 71.2%	9 8.7%	29 27.9%

#### 【避難時の同行人数】



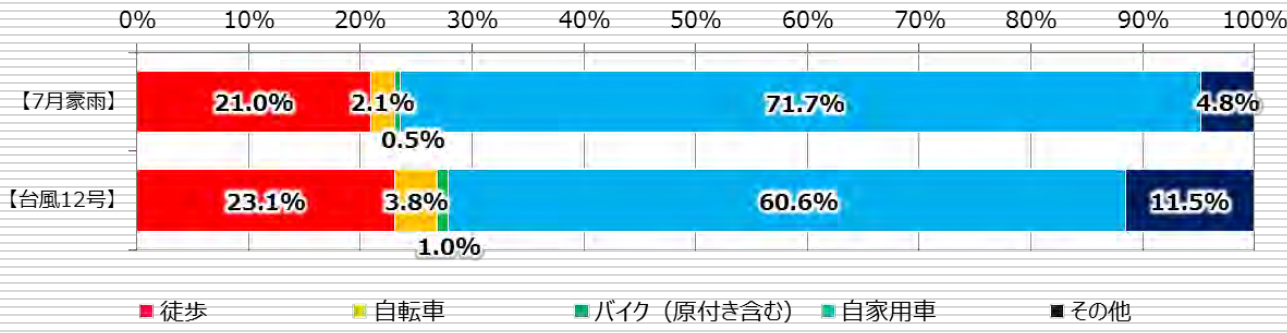
■ 避難時の同行人数については、7月豪雨で避難した同居家族の平均人数は2.78人となっています。

	全 体	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人 以 上	不 明	平 均
【7月豪雨】避難した同居家族の人数	341 100.0%	63 18.5%	91 26.7%	94 27.6%	60 17.6%	29 8.5%	4 1.2%	2.78
【台風12号】避難した同居家族の人数	74 100.0%	13 17.6%	19 25.7%	19 25.7%	15 20.3%	7 9.5%	1 1.4%	3.04
【7月豪雨】避難した近隣住民など家族以外の人	41 100.0%	10 24.4%	7 17.1%	2 4.9%	3 7.3%	17 41.5%	2 4.9%	5.15
【台風12号】避難した近隣住民など家族以外の人	9 100.0%	3 33.3%	1 11.1%	-	1 11.1%	3 33.3%	1 11.1%	4.38

(7月豪雨または台風12号で避難した人)

Q5) 避難したときの主な交通手段は何ですか？

- 避難したときの主な交通手段は、7月豪雨でも台風12号でも「自家用車」が最も多くなっています。
- 一方で、7月豪雨でも台風12号でも、2割程度は徒歩で避難しています。

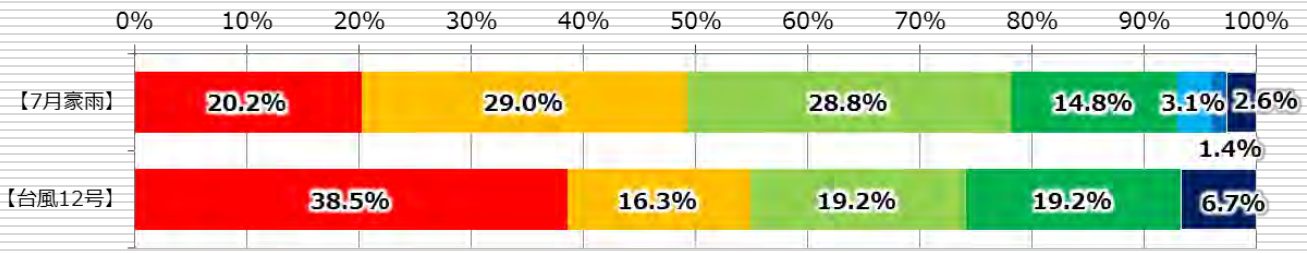


	全 体	徒 歩	自 転 車	バ イ ク (原 付 き 含 む)	自 家 用 車	そ の 他
【7月豪雨】	420 100.0%	88 21.0%	9 2.1%	2 0.5%	301 71.7%	20 4.8%
【台風12号】	104 100.0%	24 23.1%	4 3.8%	1 1.0%	63 60.6%	12 11.5%

(7月豪雨または台風12号で避難した人)

Q6) どれくらいの期間、避難していましたか？自宅から避難先に移動して、また自宅に戻るまでにかかった時間をお答えください。

- 避難してから12時間未満で帰宅した人が、7月豪雨では49.2%、台風12号では54.8%となっています。
- 台風12号では、38.5%が6時間未満で帰宅しています。



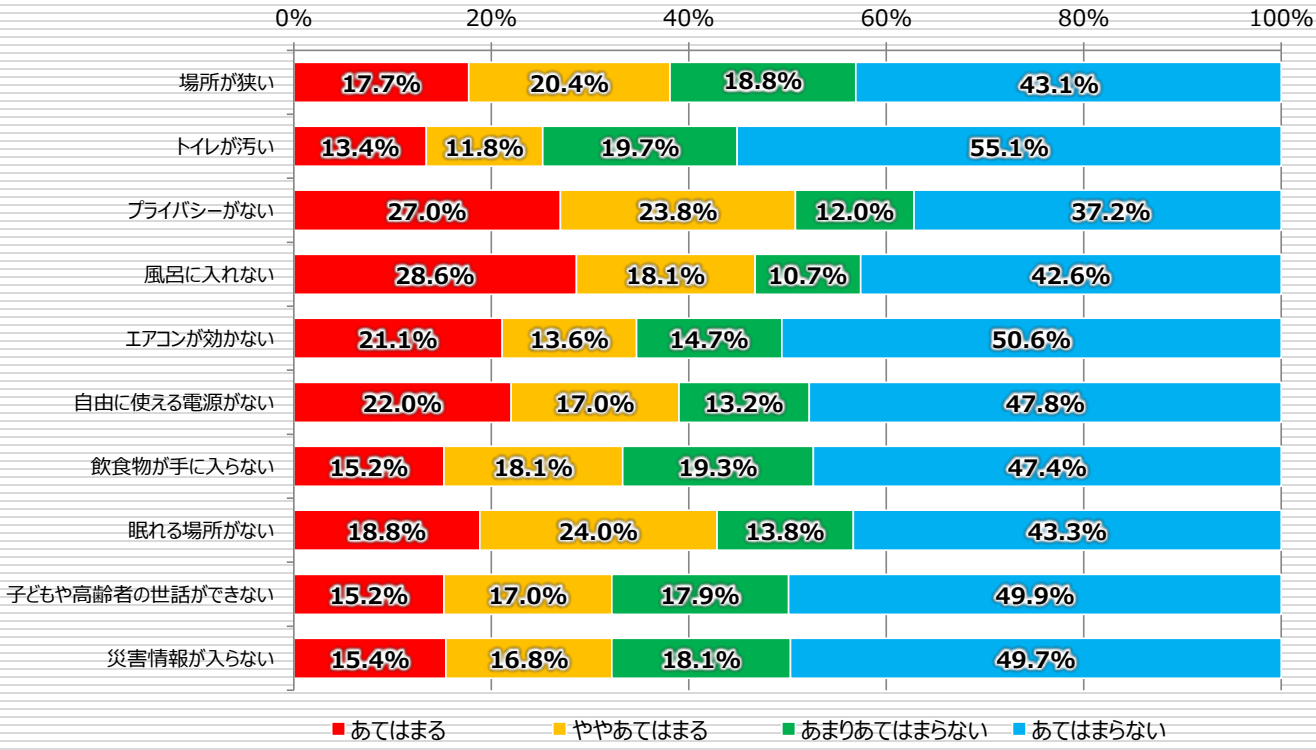
■ 6時間未満  
■ 6時間以上12時間未満  
■ 12時間以上24時間未満  
■ 24時間(1日)以上3日未満  
■ 3日以上7日未満  
■ 7日(1週間)以上  
■ まだ避難中

	全 体	6 時 間 未 満	満 6 時 間 以 上 1 2 時 間 未 満	1 2 時 間 以 上 2 4 時 間 未 満	2 4 時 間 以 上 3 日 未 満	3 日 以 上 7 日 未 満	7 日 ( 1 週 間 ) 以 上	ま だ 避 難 中
【7月豪雨】	420 100.0%	85 20.2%	122 29.0%	121 28.8%	62 14.8%	13 3.1%	6 1.4%	11 2.6%
【台風12号】	104 100.0%	40 38.5%	17 16.3%	20 19.2%	20 19.2%	-	-	7 6.7%

## (7月豪雨または台風12号で避難した人) Q7) 避難先で困ったことは何ですか？

■ 避難先で困ったことは、「プライバシーがない」が50.8%（「あてはまる」・「ややあてはまる」の合計）と最も高く、次いで「風呂に入れない」が46.7%、「眠れる場所がない」が42.8%となっています。

■ SC12「適切な避難行動をとるために必要なこと」では「避難場所・避難所の環境を改善すること」を望む声が多くなっています。上記のような事柄に対応することで、避難を促すことにつながる可能性があります。





(7月豪雨または台風12号で避難した人)  
 Q7) 避難先で困ったことは何ですか？

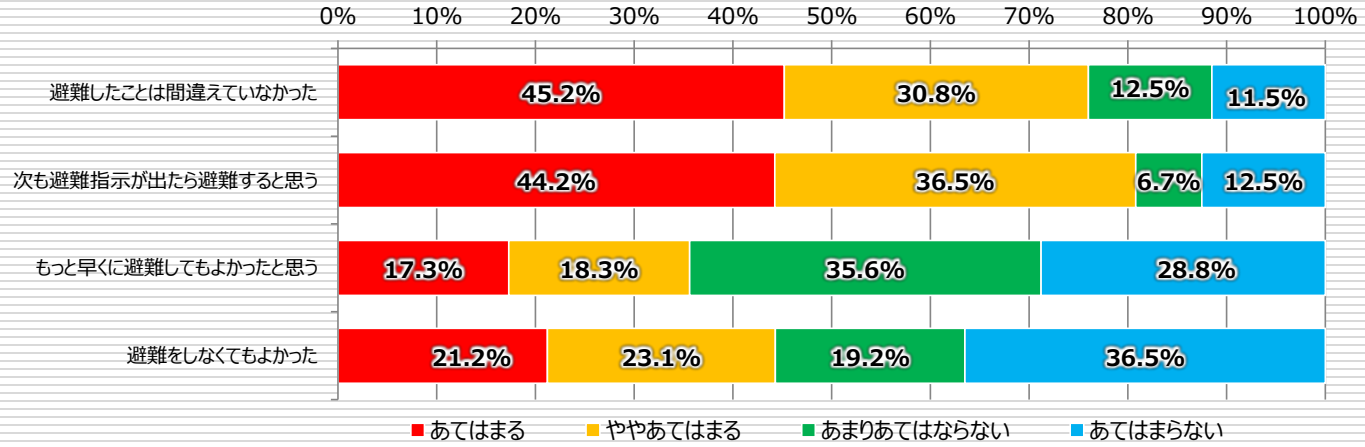
	全 体	あ て は ま る	や あ て は ま る	あ ま り あ て は ま ら な い	あ て は ま ら な い
場所が狭い	441 100.0	78 17.7	90 20.4	83 18.8	190 43.1
トイレが汚い	441 100.0	59 13.4	52 11.8	87 19.7	243 55.1
プライバシーがない	441 100.0	119 27.0	105 23.8	53 12.0	164 37.2
風呂に入れない	441 100.0	126 28.6	80 18.1	47 10.7	188 42.6
エアコンが効かない	441 100.0	93 21.1	60 13.6	65 14.7	223 50.6
自由に使える電源がない	441 100.0	97 22.0	75 17.0	58 13.2	211 47.8
飲食物が手に入らない	441 100.0	67 15.2	80 18.1	85 19.3	209 47.4
眠れる場所がない	441 100.0	83 18.8	106 24.0	61 13.8	191 43.3
子どもや高齢者の世話ができない	441 100.0	67 15.2	75 17.0	79 17.9	220 49.9
災害情報が入らない	441 100.0	68 15.4	74 16.8	80 18.1	219 49.7

上段：回答者数(人)  
 下段：割合(%)

## (台風12号で避難した人)

Q8) 平成30年7月の台風12号についてお尋ねします。避難したことについてそれぞれお答えください。

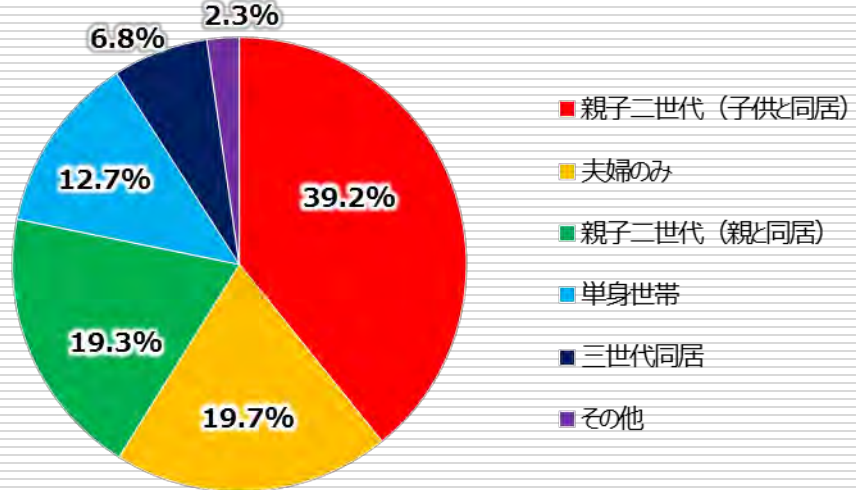
■ 台風12号で避難した人は、「避難したことは間違えていなかった」が76.0%（「あてはまる」「ややあてはまる」の合計）、「次も避難指示が出たら非難すると思う」が80.7%となっており、避難したことに対して肯定的（後悔がない）であることがうかがえます。



	全体	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
避難したことは間違えていなかった	104 100.0%	47 45.2%	32 30.8%	13 12.5%	12 11.5%
次も避難指示が出たら避難すると思う	104.0 100.0%	46.0 44.2%	38.0 36.5%	7.0 6.7%	13.0 12.5%
もっと早くに避難してもよかったと思う	104 100.0%	18 17.3%	19 18.3%	37 35.6%	30 28.8%
避難をしなくてもよかった	104 100.0%	22 21.2%	24 23.1%	20 19.2%	38 36.5%

## (7月豪雨または台風12号で避難した人)

### Q9) あなたの家族形態は？

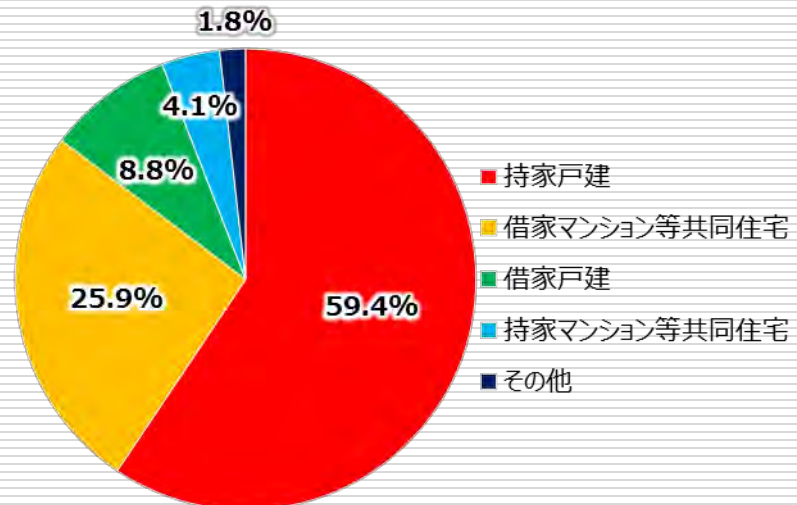


■ 親子二世代 (子供と同居) が39.2%と最も多く、次いで夫婦のみが19.7%となっています。

全体	単身世帯	夫婦のみ	(親子二世代) (親と同居)	(親子二世代) (子供と同居)	三世代同居	その他
441	56	87	85	173	30	10
100.0%	12.7%	19.7%	19.3%	39.2%	6.8%	2.3%

## (7月豪雨または台風12号で避難した人)

### Q10) あなたの居住形態は？



■ 持家戸建が最も多く59.4%、次いで借家マンション等共同住宅が25.9%となっています。

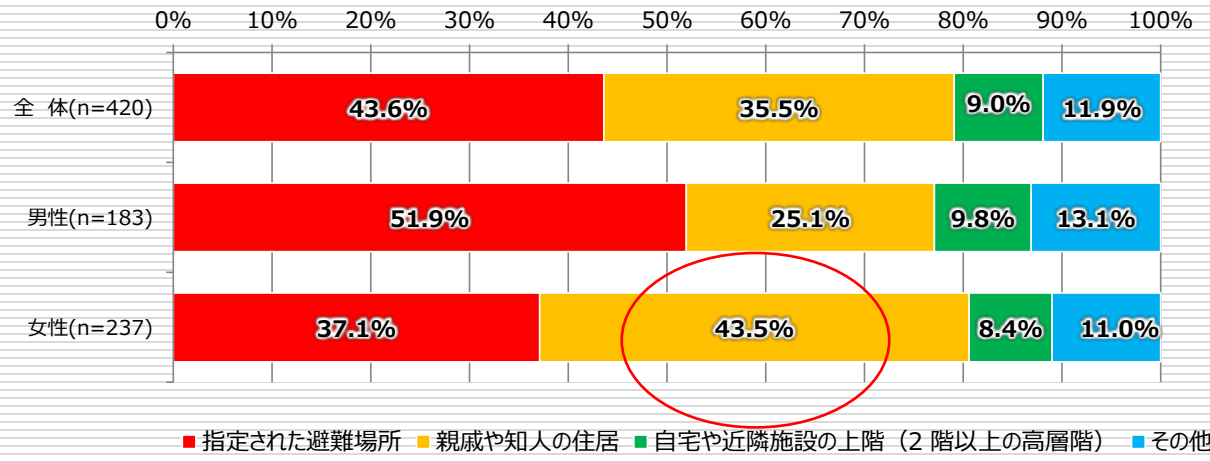
■ 戸建とマンションの別では、戸建が68.2%、マンションが30.0%となっています。

全体	持家戸建	借家戸建	借家マンション等共同住宅	持家マンション等共同住宅	その他
441	262	114	39	18	8
100.0%	59.4%	25.9%	8.8%	4.1%	1.8%

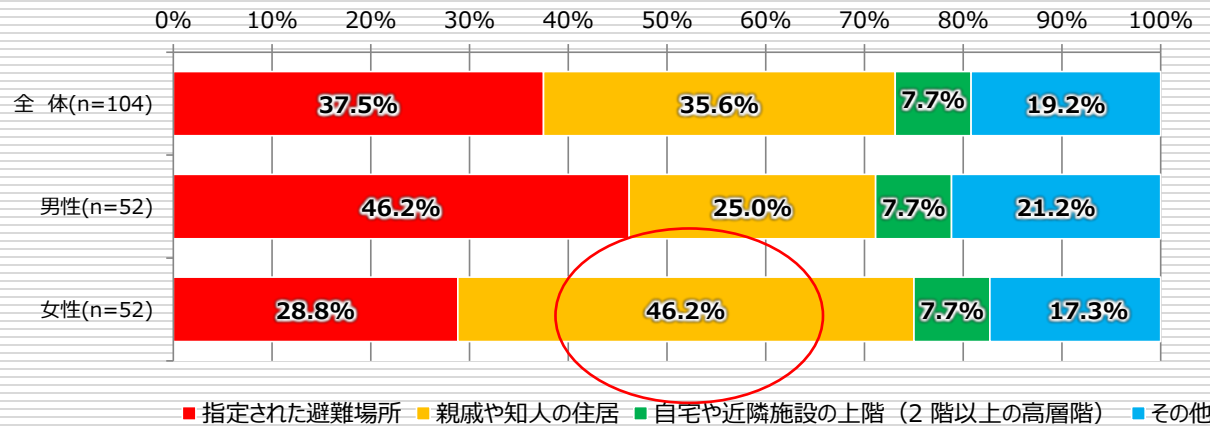
## 今後の分析に向けて① - 性別の傾向 -

■避難した人の傾向をみると、7月豪雨の際も台風12号の際も、男性は、女性に比べて「指定された避難場所」に避難する割合が高いのに対して、女性は「親戚や知人の住居」に避難する割合が高くなっています（Q1）。避難先で困ったこと上位に「プライバシーがない」ことが挙がっていたこととの関連がうかがえます。

### 【7月豪雨で避難した人】

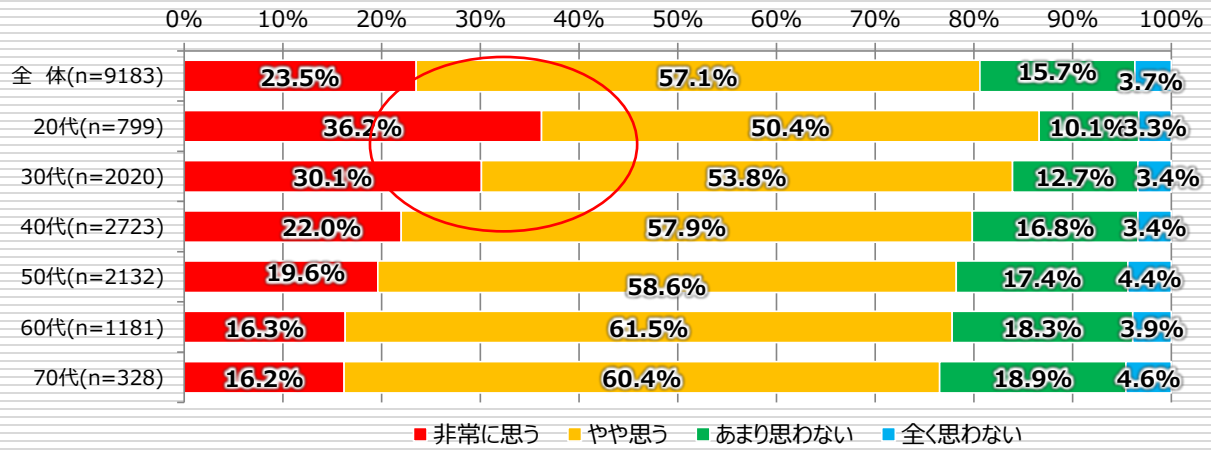


### 【台風12号で避難した人】

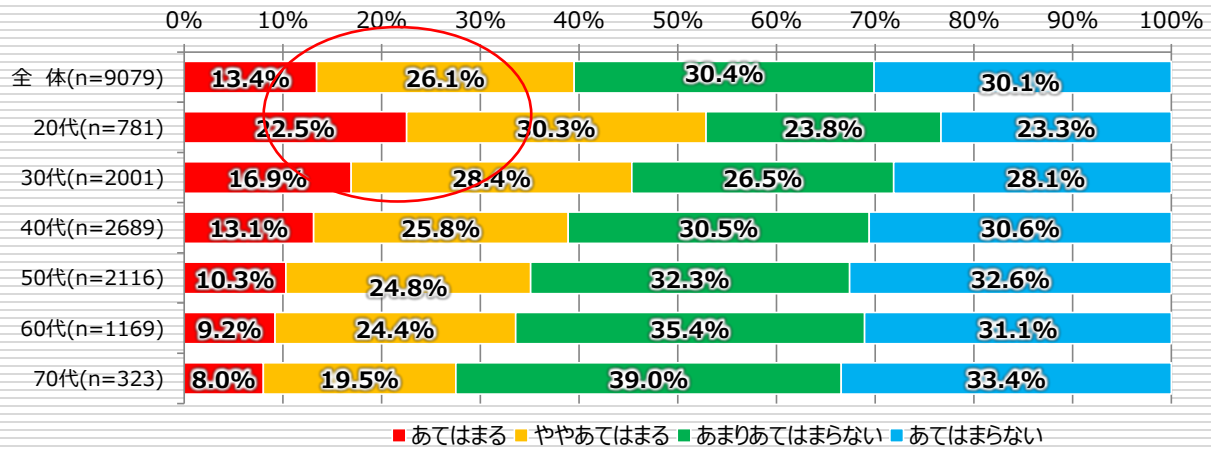


## 今後の分析に向けて② - 世代別の傾向 (1) -

■ 若年層は、「**周りが避難したら、避難しようと思う**」割合が高年齢層に比べて高くなっています (SC4)。若年層に対しては、「**周りのみんなも避難している**」という情報を与えることで、避難行動を促しやすくなる可能性があります。

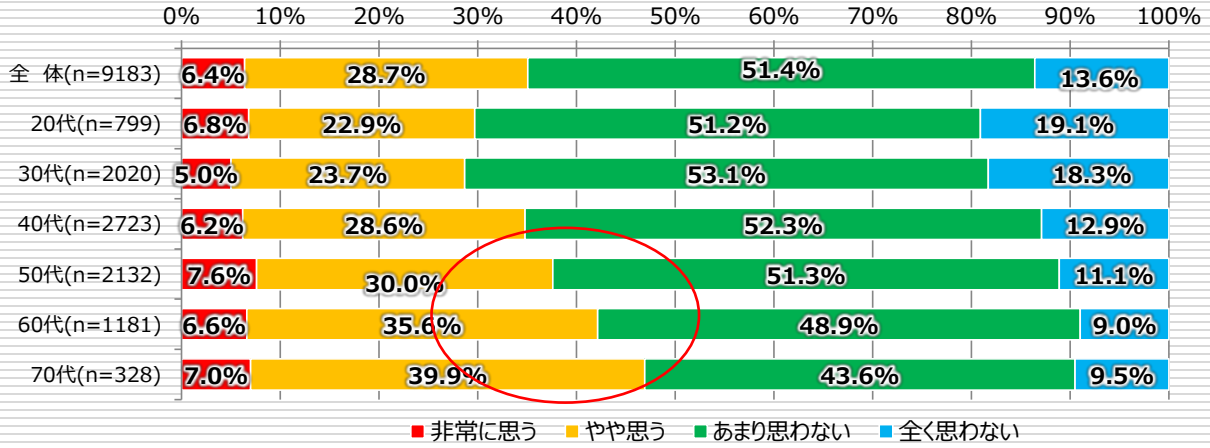


■ 若年層は、「**今まで避難したことがなかったのが不安だった**」割合が高年齢層に比べて高くなっています (SC11)。若年層に対しては、日頃の防災訓練や避難訓練などによって、避難経験をシミュレーションさせることで、避難行動へのハードルを下げやすくなる可能性があります。

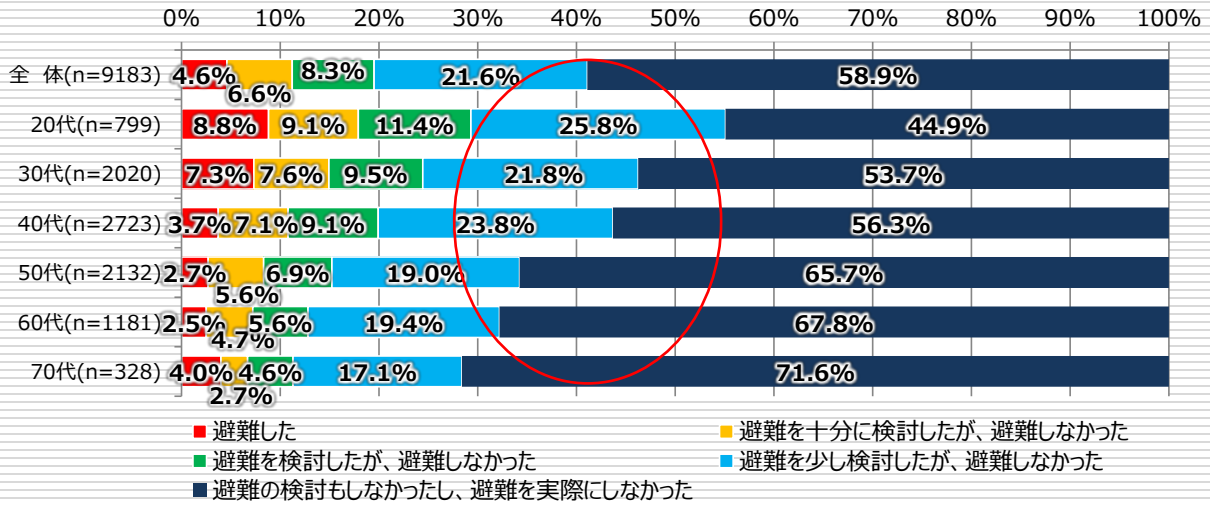


## 今後の分析に向けて③ - 世代別の傾向 (2) -

■ **高齢層は、「マスメディアは避難をあまりすぎていると思う」**割合が若年層に比べて高くなっています (SC4)。マスメディアの伝える避難勧告や避難指示などのメッセージが正しく受け止められておらず、むしろ懐疑的なイメージが避難行動の妨げになっている可能性が懸念されます。

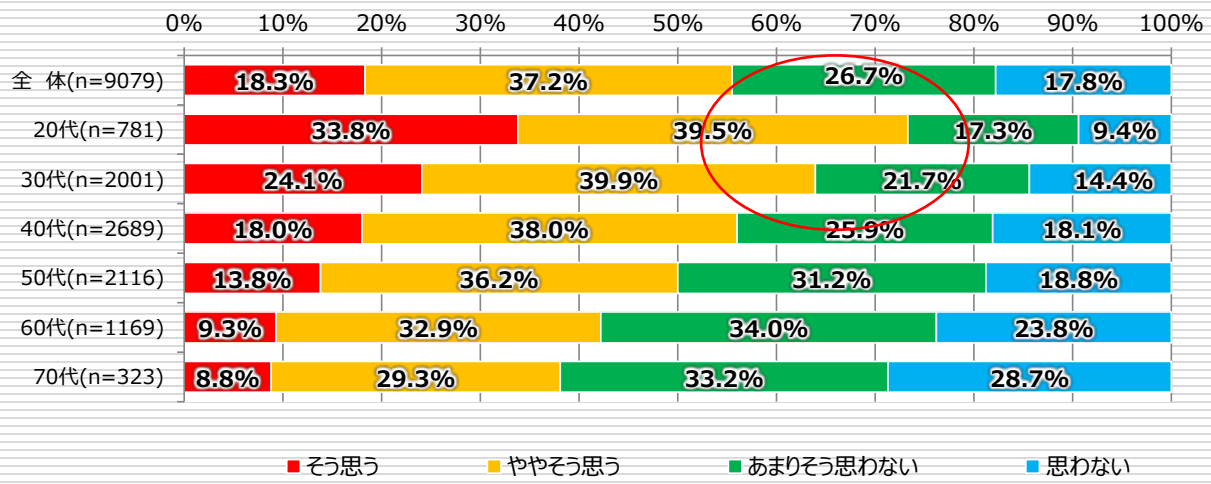


■ **高齢層は、「避難の検討もしなかったし、避難を実際にしなかった」**割合が若年層に比べて高くなっています (SC11)。20代と70代では26.7ポイントとおよそ1.6倍もの差があります (平成30年度7月豪雨時)。



## 今後の分析に向けて④ - 世代別の傾向 (3)

■ 今後適切な避難行動をとるために必要なこととして、**若者層は「Twitter やFacebookなどSNS のツールを有効活用する」**を支持する割合が高年齢層に比べて高くなっています (SC12)。20代では、「そう思う」と「ややそう思う」の合計が7割を超えています。世代別に適切な媒体を用いて避難メッセージを伝えることが有効であると考えられます。



■ 今後適切な避難行動をとるために必要なこととして**高年齢層は「緊急時は近隣住民に声かけをしあって避難する」**を支持する割合がやや高くなっており、70代では「そう思う」と「ややそう思う」の合計が9割を超えています (SC12)。地域 (コミュニティ) 防災への期待の高さがうかがえます。

